



道徳だより



能美市立寺井中学校

令和元年 11月14日(木)

NO. 4

◆10月の道徳をふり返って…

心のテーマ：感動する心（10月）

先日行われた文化祭では、3年生が中心となって創り上げた演劇や各クラスの素晴らしい合唱に会場が感動に包まれました。大きな行事は終わりましたが、ここで学んだことを今後の日々の生活の中で生かしていきたいですね。さて、今回の道徳だよりでは、1年生と3年生の10月の道徳の実践の中から、その内容や感想などを紹介します。

◇1年生の実践

僕たちの未来 C(12) 社会参画、公共の精神

ボランティアに参加した「僕」は、その作業の大変さで早々に参加を後悔してしまいます。休憩中、長年この活動が続けている浜井さんが話しかけてきてくれ、この活動の意義や歴史、そして浜井さんの思いにふれます。話を聞いて「僕」は活動に対する意欲を取り戻し、草を刈る手に力が入るようになります。先輩たちが受け継いできた活動を自分たちが今やっていて、将来は後輩たちが受け継ぐということに思いをはせ、自分たちの町と自分の未来について考える「僕」なのでした。

【生徒の感想】（一部抜粋）

- ・ボランティアは場所をきれいにするだけでなく、心もきれいにしてくれるのだと思いました。
- ・自分たちに必要なことは、ボランティアの大切さを感じて伝えていくことだと思いました。だから、まずどういう取り組みかということを知って、行っていけるようにしたいです。
- ・僕たちも番が来たら、それを途切れさせないようにしたい。ボランティア活動に積極的に参加したいです。
- ・一人ひとりが「自分が」という気持ちを持つことが大事だと思う。ボランティアをするのも、一人だけであるより皆でした方がより良い環境になるし、一人だけで頑張っても、意識のない人の方が多いと、何も変わらないから、他人事じゃなく、皆が自分事と思って取り組むことが大切だと思う。
- ・一人ひとりが、何をしたらよいか考えることが大切だと思いました。また、その活動を広めていくことや、つなげていこうとすることです。私はこのお話を読んで、ボランティアは自分のためにも、誰かほかの人のためにもなると思ったし、誰かのためにする、してくれる人が増えて欲しいと思った。
- ・自分たちの社会をよりよくしていくために、世の中のためになるボランティアに多くの人に参加することが大切だと思いました。そして、一人ひとりが自分からボランティアに行こうとすればするほど、より良い未来に向かっていくと思いました。
- ・自分だけの思いじゃなく、みんなのことや地域の人たちのことを考えて、ボランティアを友達と一緒にやったり、少しずつ身近なことからできたらいいなと思った。
- ・ボランティアは誰かのためでもあるけど、自分たちのためでもあるから、できるボランティアはやりたいと思いました。
- ・面倒臭かったり、大変でも、誰かがやってくれると考えず、地域や社会の未来について考えて実行することが大事だと思った。そして広めていくということも大切だと思った。

→ 裏面へ続く

◇2年生の実践

「おばあちゃんの指定席」 B (6) 思いやりの心

ゆうこは毎週同じ電車に乗り合わせるおばあちゃんのために、席をとっておく約束をしていた。ある日、足をけがした男性が電車に乗ってきた。おばあちゃんのために席を確保していたゆうこだが、悩んだ末、その男性に席を譲ってしまう。おばあちゃんとの約束を守れなくなったゆうこは、その後、おばあちゃんが乗車してきて、泣いてしまう。しかし、おばあちゃんはすべてを悟り、笑顔で大きくなずいてくれたのだった。

【生徒の感想】（一部抜粋）

- ・自分で正しいことを判断して行動することが思いやりにつながると思った。
- ・どうしたら相手が笑顔でいられるのかを考え、これからの生活では行動を考え直していけるようにしたい。
- ・自分のことだけではなく他人のことを考えることも大切だと思った。
- ・この年頃は素直になるのは難しいけどもっと素直になろうと思えました。思いやりというものは誰に対しても親切にできることなんだなと思いました。
- ・私もゆうこと同じように電車で席を譲ってあげる経験をしました。そのときの、おじいちゃんおばあちゃんのお顔が嬉しかったです。ゆうこは責任感が強い優しく良い子だなと思いました。
- ・思いやりの心とは、常にだれに対しても優しく接することができる心だと思った。席を譲るときになかなか勇気が出せなくて言えないときがあったけど、ゆうこのようにしっかり言葉にして伝えられたらいいと思った。
- ・相手がしんどそうにしていたり、一人では抱えきれないことあがあったら、助けてあげたり声をかけたりすることが思いやりだと思いました。
- ・思いやりの心は困っている人のことを1番に考えて行動することだと思いました。私もこれから困っている人がいたら助けてあげたいし、日常生活でも思いやりの心をもって生活したいです。
- ・誰にでも優しく親切にできる人が思いやりの心がある方なんだなと思いました。自分もゆうこみたいにいろんな人に親切にできる人になりたいなと思いました。
- ・自分のことよりも他人を優先する優しさが思いやりだと思った。自分も思いやりを持ちたいと思った。
- ・思いやりの心とは人を思って、人が喜んだり嬉しくなることを人のためにすることだと思った。他人のことを思って何かをすると必ず何か良いことがあると思った。自分もそんな人になりたい。
- ・思いやりの心とは、いつも誰かのことを思って行動する心だと思った。金沢見て歩きで私もバスの席を譲ってあげられたので、これからいろんな場面で続けていきたいと思った。ゆうこはいつでも優しいのですごいと思った。
- ・自分も人に親切にしてあげられるようにしたいと思った。思いやりの心とは、人のことを考えてあげられるような心だと思う。
- ・自分のことより他人のことを思うことが思いやりだと思います。私も自分より他人のことを考える人になりたいです。そのためにみんなに平等に接していけるようにしたいです。
- ・自分が思っても口に出したり行動に移さないと相手には伝わらないし、とても勇気がいることもある。それができるゆうこは優しい子だし勇気があると思った。私もゆうこを見習って勇気を出したい。思いやりは勇気と善意の表れだと思った。

